

教育方針と学園の沿革

桜花学園大学大学院研究科長

金子 晃之

教育方針

人間文化研究科では、桜花学園大学の建学の理念である「信念ある女性の育成」という教育目的に基づき、複雑・多様で不透明な現代社会を切り開くための知性と理性を兼ね備えた創造力豊かな高度職業人の養成をめざしています。

人間科学専攻では、教育学・保育学における高度な専門知識の修得による教育力・保育力の強化のための教育課程が編成されています。小学校教諭専修免許状・幼稚園教諭専修免許状の取得に関わる指導・教育を行います。

地域文化専攻では、高度な語学能力に基づき英語教育能力や多文化理解や地域研究能力の修得が可能となる教育課程が編成されています。中学校及び高等学校教諭専修免許状の取得に関わる指導・教育を行います。また、グローバルな視点にたった具体的な地域課題の解決能力や観光政策立案能力の修得を目的とした教育課程が編成されています。

桜花学園の沿革

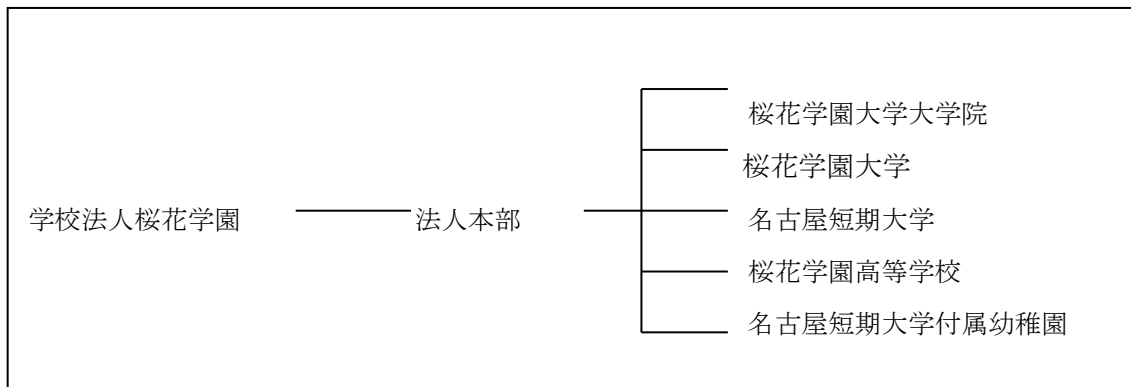
学校法人桜花学園は、桜花学園大学大学院の他に桜花学園大学(学芸学部、保育学部)、名古屋短期大学(保育学科、英語コミュニケーション学科、現代教養学科)、桜花学園高等学校、名古屋短期大学付属幼稚園を設置しています。

この伝統ある学園の沿革の概略は、次の通りです。

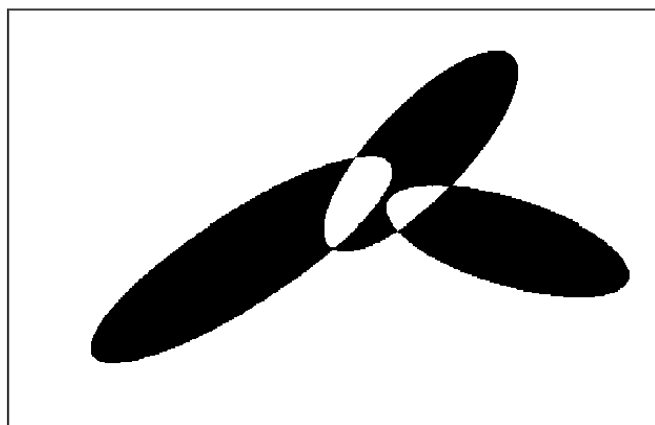
明治36年	桜花義会看病婦学校(創設者:大溪 専)
大正12年	桜花高等女学校
昭和16年	桜花女子学園
昭和23年	桜花女子学園高等学校
昭和26年	桜花学園女子高等学校・中学校
昭和30年	名古屋短期大学保育科
昭和30年	名古屋短期大学付属高等学校(平成11年桜花学園高等学校に改名)
昭和42年	名古屋短期大学付属幼稚園
昭和51年	名古屋短期大学英語科(平成10年英語コミュニケーション学科に改名)
昭和57年	名古屋短期大学教養科(平成10年現代教養学科に改名)
平成2年	豊田短期大学 人間関係学科(定員100名) 日本文化学科(定員100名)
平成10年	豊田短期大学 改組転換 桜花学園大学開学 学長 湊 吉正 人間関係学科(定員100名) 比較文化学科(定員100名)
平成11年	豊田短期大学廃止
平成12年	桜花学園大学 定員増 人間関係学科(定員150名) 比較文化学科(定員110名、平成15年国際文化学科に改名)
平成14年	桜花学園大学 学部増設 保育学部 保育学科(定員75名)
平成14年	桜花学園大学大学院修士課程人間文化研究科 人間科学専攻(定員5名) 地域文化専攻(定員5名)
平成15年	桜花学園大学人文学部 学科増設 観光文化学科(定員60名) 国際文化学科(定員80名) 人間関係学科(定員120名)
平成16年	桜花学園大学人文学部 国際文化学科 定員変更(定員70名)
平成19年	桜花学園大学人文学部 人間関係学科 定員変更(定員65名) 国際文化学科 定員変更(定員35名) 観光文化学科 定員変更(定員50名) 保育学部 定員増(定員145名)
平成21年	人文学部 改組転換 学芸学部 英語学科(定員80名)
平成24年	豊田校舎移転(名古屋校舎に統合) 桜花学園大学 教育保育研究所 開設
平成28年	保育学部 保育学科定員変更(定員175名) 学芸学部 英語学科定員変更(定員50名)
平成30年	保育学部 国際教養こども学科設置(定員45名)

令和6年 保育学部 保育学科定員変更（定員130名）
学芸学部 改組転換
国際学部 国際学科（定員50名）

桜花学園の組織・構成



シンボルマーク



学園のシンボルマーク

このマークは、学校法人桜花学園のシンボルマークです。桜の花びらをデザイン化したもので女性のやさしさと建学の精神を象徴しています。